

第11期生（昭島市立多摩辺中学校出身）

学習院大学法学部法学科 進学

2・3年次で「古典B」「世界史B」を合計8単位ずつ選択しました。「世界史B」は1年次で「世界史A」が必修のため、その流れで選択したのですが、先生の授業はとても面白く活気に溢れ、少ない選択メンバーとともに楽しく学べました。授業内容も充実しており、受験のときには「世界史B」を得意科目にすることができました。

受験勉強では、主に学校の自習室を利用しました。自習室には、個人席が設けられていて、集中するには最適でした。また、廊下を挟んで目の前には職員室があるので、いつでも先生方に質問することができ、安心して勉強に取り組むことができました。

第11期生（青梅市立泉中学校出身）

法政大学経済学部国際経済学科 進学

青梅総合高校での3年間は、充実したものになりました。総合学科のため、自分が将来やりたいことを考える機会が多くあります。私は社会学系の分野に興味があり、その分野を深く調べることによって、将来「社会保険労務士」を目指そうと決意しました。また、2年次から12時間もの選択科目が選べることは、自分に必要な科目を受けられるので、早い時期から進学準備をすることができ、受験意識も高めることができました。

皆さんも自分の大きな夢を青総で見つけ、それに向かって小さな目標を1つずつ達成していきませんか。

第11期生（あきる野市立増戸中学校出身）

白梅学園短期大学保育科 進学

私は保育士を目指して、2年次から専門的な授業を受けられる青総に入学しました。2年次の「子どもの発達と保育Ⅰ」では講義を中心に一から子どもについて学び、3年次の実習の準備を行います。3年では「子どもの発達と保育Ⅱ」で講義や事例研究を、そして「保育実習」でリトミックや、地域の保育施設に伺って実践的なことを学びました。入学前に思っていたよりも大変なこともありましたが、実際に保育士の方からのアドバイスをいただいたり、目の前の子どもたちを前にすると達成感を感じ、大学や将来に活かせる力を身につけることができました。

少しでもやりたいことや興味があれば、選択することをお勧めします。

第11期生（青梅市立西中学校出身）

日本社会事業大学社会福祉学部福祉計画学科 進学

私は将来障害者福祉の道に進みたいと思っているので、専門科目の中から福祉の科目を選択しました。2年の「基礎介護入門」では介護の基礎的なことを学び、3年の「介護福祉実習」では、福祉施設での実習やバリアフリーについて自分たちで考えるなど2年次よりも福祉について実践的に学びました。これらのことを大学での研究や授業に活かし自分の将来に繋げていきたいと思っています。

自分のやりたいことや好きなことを学ぶことができるのは、普通科の高校にはない青梅総合高校特有の強みです。受験を乗り越えたら楽しい高校生活が待っています。

頑張ってください。

第11期生（あきる野市立西中学校出身）

杏林大学外国語学部観光交流文化学科 進学

私はAO入試で大学受験をし、早い段階で自分の進路決定をすることができました。こんなにも早く進路決定ができたのは、もともと国際社会に興味を持っていたこともあり、青総のドイツ姉妹校交流への参加や海外修学旅行を通じて、将来は国際社会で仕事をしていきたいという自分の夢を見つけることができたからです。夢を叶えるために、選択科目で英語の科目を多くとるだけでなく、校外で英語の習い事や英検に挑戦するなど自主的に英語に触れる機会を多くして、たくさん勉強をしました。

皆さんも、自分の興味があることにどんどん挑戦して、夢を見つげられるよう、頑張ってください。

第11期生（昭島市立拝島中学校出身）

成蹊大学経済学部経済経営学科 進学

私の卒業研究のテーマは、「マーケティングはなぜ重要なのか」というものでした。研究を進めていく中で専門的な用語も多く出てきたり、アンケート調査など実際に研究を進めていくことも想像以上に大変でした。しかし、この研究を通して、自分の学びたいことは間違っていないと感じ、受験勉強にも積極的に取り組みました。私は経済学部に進学しますが、大学ではこの研究を活かしてもっと深く学んでいきたいと考えています。

卒業研究は、総合学科ならではのものです。面倒だと思わずに自分が納得できるものを完成させてほしいです。必ず自分の力になります。

第11期生 (立川市立立川第六中学校出身)

日本郵便株式会社東京支社 就職

3年間所属した和太鼓部では、様々な大会に出場することができました。全国大会出場はもちろん個人賞受賞を目標に入学し、毎日、朝も放課後も練習を行い努力を重ねてきました。疲れとの日々戦いでしたが、その努力が実って全国大会に出場でき、個人賞をいただくこともできました。本当に努力してよかったと思う瞬間であり、一生の宝物です。



第11期生 (青梅市立新町中学校出身)

警察庁皇宮警察本部 皇宮護衛官 就職

高校入学時に将来の夢など明確な目標がなかった私が、進路実現ができた理由は二つあります。一つは硬式野球部の活動と勉強の両方ともにしっかりと取り組んだこと。二つ目は「自分にしかない経験」に挑戦できたことです。私は自転車で河口湖と鎌倉に出かけました。この旅で、たくさんの人々や美味しい食べ物、美しい風景に出会いました。この私にしかない経験は、新たなことに挑戦することの大切さを教えてくれました。同時に、面接時にも活かされ、自らの進路を切り拓く要因にもなりました。皆さんも、青梅総合高校で高校時代にしかできない、自分しかない経験をして、自らの進路を切り拓いてみませんか。

第11期生 (八王子市立石川中学校出身)

東京薬科大学薬学部薬学科 進学

1・2年次は、サッカー一部中心の高校生活をしていました。それでも1年次から自分は理系だと自覚し、大学進学は決めていました。それに向けての科目も選択していました。しかし、最終的に薬学部への進学を決めたのは、科目決定後の2年の3月の進路ガイダンス後でした。3年次の授業の半分以上、週17時間は、数学と物理と化学の少人数の授業になりました。それでも私にはとても楽しい時間でもありました。中でも「答えを導くために仮説を立てて考える時間」であった「数学Ⅲ」の授業の先生には感謝しています。受けたかった授業が全て選択できたわけではありません。選択できなかった授業もありますが、全く後悔はしていません。自分が学びたいものを学べたからです。

第11期生 (青梅市立第三中学校出身)

東京都立北多摩看護専門学校 進学

青梅総合高校には、多くの選択科目があり、その特徴が私にとって一番の魅力でした。1年次の「産業社会と人間」の授業で、自分の進路実現について考える機会を得て、自分の学びたいことは何かを多く考えました。その結果、2年次では「現役看護師」の方が先生として来てくださる「家庭看護入門」を選択しました。この授業は、座学だけではなく実習も含めて行われます。この学習を通して、看護に対する関心も深まり、さらに、医療現場での話を伺う機会も多く、高校の3年間で自分がどのような看護師になりたいのかを、明確にすることができました。

第11期生あきる野市立西中学校出身)

東京家政学院大学人間栄養学科 進学

高校入学以前は、将来どのような仕事に就きたいか明確な目標を持っていませんでした。ですが、1年次から自分の将来について考える時間が設けてあったため、最終的には「管理栄養士として働きたい」という目標を持つことができました。目標決定後は、「フードデザイン」や「食品衛生」などを選択し、将来につながる知識を身につけていきました。一方、受験科目を中心とした時間割も立てることができるので、早い時期から受験を意識した勉強を進めることもできました。

この3年間の頑張りを将来へ繋げられるよう、進学先でも努力していきたいです。

第11期生 (羽村市立羽村第三中学校出身)

東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科 進学

青梅総合高校のいいところは、自分で授業を選べるところにあると思います。私は3年次に「森林レンジャー入門」という授業をとりました。この授業では、実際に演習林へ行って森林の管理をしたり、御岳セミナーハウスで合宿をしたり、ほかではできない経験ができました。この経験を通し、農場や林業の楽しさを知ると同時に、それらの仕事にかかわる人間の高齢化など、現在抱える問題が多くあることも知りました。私は、これらの問題を解決したくて、この進路を選びました。これから大学で勉強をし、人の役に立つ道具や機器を作りたいと考えています。

青総には、楽しい授業もそうでない授業もありますが、どれも他の学校ではなかなかできない貴重な体験です。